

一筆啓上

作左通信



第二十三号 平成十七年四月十二日(火) 発行

見えたえあつた「家康行列」

四月十日(日)に「家康行列」が行われました。今年、桜の開花が遅く、ちょうど満開のときになりました。

今年の「徳川家康」は、社会教育委員長(「作左の会」会長)の永田正男さん。朝、九時から中央総合公園で衣装合わせ。その武者姿は、大変凛々しく見えました。

午後一時から、伊賀八幡宮で神事が行われました。岡崎市長はじめ、プリンセスお

ぎき、ゆかりの町の人たちも参列し、今年の家康行列の成功を祈りました。

行列の中の「家康隊」には、六ツ美西部学区の人たちも多数参加しました。槍隊、旗持ちなど、家康のサポート隊もとても雰囲気盛り上げていました。

このころになると、沿道には、「家康行列」を見るために、多くの人たちが集まってきました。

一時三十分。伊賀八幡宮から「家康行列」が始まりました。小学校の鼓笛隊を先頭に、乙川河川敷まで、約三・五キロメートルを歩きました。そして、三十分後、いよいよ「家康隊」の出發。鎧・兜をきた

永田さんが馬に乗り、扇子を振りかざす姿は、とても勇ましく、多くの見物客から大きな拍手がありました。また、槍隊は、途中合図で、気合の入ったかけ声でパフォーマンスを披露し、六ツ美西部学区の意気込みを見ることができました。

乙川沿いでは、鉄砲隊が鉄砲を打ち、合戦の演出も行われました。その様子は、大変迫力がありました。

岡崎市の代表的な催しものである「家康行列」に六ツ



—勇ましい家康姿の永田さん—